



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第6号 (H22. 5. 20)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

しつ じつ ごう けん 質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ!!」



Communication Time

C-TIMEの時間とは? (学校オリジナル教科)

附属中学校は、国際社会で活躍できる生徒の育成を目指し、英語を母国語とする外国語指導助手 (ALT) を活用するなどして、生きた英語の学習を充実させます。

具体的には、C-タイムという学校独自の教科を設定し、英語によるディスカッションなどを通して、基礎的な日常会話の習得やプレゼンテーション能力の伸長を図ります。

こららの写真は、さる5月12日に行われたC-タイムの時間の授業の様子です。また、この日はUMK「のびよ!みやざきっ子」の取材を受け授業の中に、はかせに入ってもらいました。子どもたちは生き生きと学習する姿があり、楽しいという生徒ばかりでした。授業の様子など附属中を



紹介していただく放映日は、6月12日(土曜日:午前11時30分から11時45分)です。再放送は6月13日(日曜日:午前7時45分から8時)にあります。是非、保護者の皆さまご覧ください。

□ブラック

BOXゲーム

島寄先生とフィルさんに吉川君と廣田さんが挑戦しました。



□「Who am I?」をはかせと一緒に楽しく取り組みました。

□フラッパーゲームに取り組む大井さんと松元くん

□インタビューを受ける藤岡さん

SETの時間とは？ (自学の時間)

附属中学校では、生徒一人ひとりの「やる気」を起こさせながら、自主的・自発的に学習に取り組み、中学校1年から自学の習慣をつくります。

写真は、中学校担当の先生方が生徒がわからない問題等を生徒一人ひとりに指導・支援している様子です。教室では、自主的に自分の課題を一生懸命取り組んでいます。わからない所はその日に解決できるようにと設定された時間ということで、これからも充実した時間になるよう一生懸命取り組んでいきます。

月曜日：数学

火曜日：数学・理科
英語

水曜日：数学・理科
英語

木曜日：英語

金曜日：論文



読書の勧め

朝日新聞に瀬戸内寂聴さんが書かれた「良書の選別や干渉はしないで」というコラム欄がありました。瀬戸内さんは、幼少のころから読書が好きで、小学校に入学する前から字を覚え、お姉さんが買ってもらった雑誌を片っ端から読んでいたそうです。小学校に上がってからは公立図書館に通うことを覚え、日曜日はこちらに入り浸って、各国の童話を読みあさり、またお姉さんの担任教師の家に出かけては日本文学全集や世界文学全集の小説も手当たり次第読みふけていたと書いてあります。さらに、家で取っている婦人雑誌や「講談倶楽部」や「キング」等、何でも片っ端から読んでいたそうです。与謝野晶子訳の「源氏物語」は13歳で読んだと書いてあります。「まさに乱読であり、その中から自然に良い小説、品の高い小説、傑作と呼ばれる小説を読み分ける力を具（そな）えてきました。文学の力というものに、圧倒的に魅了された。」と書いていらっしゃいます。それは、「人に教えられたのではなく、本そのものが教えてくれた」とも、……。そこからこの題がついたのだと思います。そして、「読書の究極の恵みは、自分を識（し）り、他者を理解する力を与えられることだ。」と書かれています。私は、読書を通して、「書き手が何を言いたいのか」というテーマを探る場合もあると思いますが、時として「読み手」の気持ちをくんでくれる言葉や文章に巡りあい、心を励まされたり癒（いや）してくれたりすることがあると思います。また、自分が逆境に立たされ、

切羽詰まった状態にある時、自分よりもっと厳しい状況にある人のことを知ることによって、現状を客観的に見つめることで急場をしのいだり、活路を見出したりすることもあるのではないかと思います。つまり、読書することによって、「自分で自分をたくましく育てる力」を身につけることができると思うのです。

附属中でも「思索の時間」を設定し、読書活動を推進しています。是非、ご家庭でも読書活動を実践してみてください。親子で同じ本を読むと話題もでき話も弾みます。

□思索の時間・思索の時間を通して将来の進路に対する目的意識が芽生え、さらには、人生の意味を発見してくれることを期待しています。



思索の時間の様子（8時20分～30分）